

簡易な所得見込額の申立書

【家計急変者】

ひとり親世帯以外用

簡易な収入見込額の申立書において、すでに要件を満たしている方は提出不要です。

(世帯以外分) 申請書」と一緒にご提出ください。給付の対象となります。

記入例

① 下記にチェック (☑) してください。

食費等の物価高騰の影響により、家計が急変しました。

→【要件1】①にチェックが入っていること。

※申請者（（5）で所得が高い方）が食費等の物価高騰の影響で、家計が急変した場合にチェックしてください。

②-1 申請者の令和5年1月以降の任意の月の収入（1か月）の内訳及びその合計額をご記入ください。

令和 5 年 4 月

表面の記入方法は「簡易な収入見込額の申立書」と同様です。

収入	給与収入【A】					4	0	0	0	0	円	※給与収入がある場合にご記入ください。 ※給与明細書などの収入額が分かる書類をご提出ください。	
	事業収入又は不動産収入【B】									0	円	※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。 ※帳簿などの収入額が分かる書類をご提出ください。	
	年金収入【C】					1	0	0	0	0	0	円	※公的年金収入（非課税除く）がある場合にご記入ください。 ※年金決定通知書、年金額改定通知書、年金振込通知書などの支給額がわかる書類をご提出ください。
	収入合計額【A + B + C】					1	4	0	0	0	0	円	※収入額の合計額をご記入ください。

※複数の職に就いている方は、全ての収入について記入してください。
※上記以外の収入については記載不要です。

×12

③-1 申請者の収入合計額を12倍した金額をご記入ください。

年間収入見込額（申請者） 1 6 8 0 0 0 0 円

②-2 配偶者等の令和5年1月以降の任意の月の収入（1か月）の内訳及びその合計額をご記入ください。

令和 5 年 4 月（基本的に②申請者と同じ「年月」としてください）

注意事項

収入	給与収入【A】					2	0	0	0	0	円	※給与収入がある場合にご記入ください。 ※給与明細書などの収入額が分かる書類をご提出ください。
	事業収入又は不動産収入【B】									0	円	※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。 ※帳簿などの収入額が分かる書類をご提出ください。
	年金収入【C】									0	円	※公的年金収入（非課税除く）がある場合にご記入ください。 ※年金決定通知書、年金額改定通知書、年金振込通知書などの支給額がわかる書類をご提出ください。
	収入合計額【A + B + C】					2	0	0	0	0	0	円

※複数の職に就いている方は、全ての収入について記入してください。
※上記以外の収入については記載不要です。

×12

③-2 配偶者等の収入合計額を12倍した金額をご記入ください。

年間収入見込額（配偶者等） 2 4 0 0 0 0 円

（参考：非課税相当収入限度額）

<早見表>

世帯の人数（注）	非課税相当収入限度額
2人（例）夫婦子1人	146.9万円
3人（例）夫婦子1人	187.7万円
4人（例）夫婦子2人	232.7万円
5人（例）夫婦子3人	277.7万円
6人（例）夫婦子4人	322.7万円

（注）世帯人数は、以下の合計人数です。

- ・申請者本人
- ・同一生計配偶者（収入金額103万円以下の者）
- ・扶養親族（16歳未満の者も含む）

（次ページに続きます）

④【要件2】に該当するか確認してください。

(1) 以下の「**表面の③-1の額**」を記入し、確認してください。

表面の③-2の額を記入します。

(1) 申請者及び配偶者等それぞれの③の年間収入見込額をご記入ください。

収入	(申請者) 収入額	1	6	8	0	0	0	0	0	円	(配偶者等) 収入額	2	4	0	0	0	0	円
----	-----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------------	---	---	---	---	---	---	---

(2) (1) 年間収入見込額のうち、給与収入にかかる給与所得控除の見込額 (12か月分) をご記入ください。

控除	(申請者) 給与所得控除額	4	8	0	0	0	0	円	(配偶者等) 給与所得控除額	2	4	0	0	0	0	円
----	---------------	---	---	---	---	---	---	---	----------------	---	---	---	---	---	---	---

給与所得控除

- ①Aの額のうち給与収入分が162.5万円以下 → 55万円
- ②Aの額のうち給与収入分が162.5万円超180万円以下 → 給与収入分×40% - 10万円
- ③Aの額のうち給与収入分が180万円超360万円以下 → 給与収入分×30% + 8万円
- ④Aの額のうち給与収入分が360万円超660万円以下 → 給与収入分×20% + 44万円

算定式をもとに記入します。
※55万円以下の場合、給与収入分の全額となります。

(3) (1) 年間収入見込額のうち、事業収入、不動産収入にかかる必要経費の見込額 (12か月分) をご記入ください。

控除	(申請者) 事業収入等の経費	0	0	0	0	0	0	円	(配偶者等) 事業収入等の経費	0	0	0	0	0	0	円
----	----------------	---	---	---	---	---	---	---	-----------------	---	---	---	---	---	---	---

必要経費の年額の見込みを記入します。
※帳簿等の書類の提出が必要です。

人又は不動産収入を記入した方は、当該収入のために要した経費の12か月相当額をご記入ください。上記の経費がわかる書類をご提出ください。

(4) (1) 年間収入見込額のうち、公的年金等収入にかかる公的年金等控除の見込額 (12か月分) をご記入ください。

控除	(申請者) 公的年金等控除	6	0	0	0	0	0	円	(配偶者等) 公的年金等控除	0	0	0	0	0	0	円
----	---------------	---	---	---	---	---	---	---	----------------	---	---	---	---	---	---	---

公的年金等控除

※右の算定式より控除額を計算の上、ご記入ください。

- (65歳未満の方) 公的年金等収入分 → 控除額
 - : 60万円以下 → 公的年金等収入分の全額
 - : 60万円超130万円未満 → 60万円
 - : 130万円以上410万円未満 → 公的年金等収入分×25% + 27万5千円
 - : 410万円以上770万円未満 → 公的年金等収入分×15% + 68万5千円
- (65歳以上の方) 公的年金等収入分 → 控除額
 - : 110万円以下 → 公的年金等収入分の全額
 - : 110万円超330万円未満 → 110万円
 - : 330万円以上410万円未満 → 公的年金等収入分×15% + 68万5千円
 - : 410万円以上770万円未満 → 公的年金等収入分の全額

算定式をもとに記入します。

申請者・配偶者等それぞれについて、(1)の額から(2)~(4)の合計額を引いた額を記入します。

(5) 年間所得見込額を計算の上、ご記入ください。 (5) = (1) - ((2) + (3) + (4))

所得見込	(申請者) 年間所得見込額	6	0	0	0	0	0	円	(配偶者等) 年間所得見込額	0	0	0	0	0	0	円
------	---------------	---	---	---	---	---	---	---	----------------	---	---	---	---	---	---	---

(6) 申請者の方が (5) の金額が高いことを確認し、申請者の申請時点の世帯状況に応じた非課税所得限度額をご記入ください。

非課税相当額	(申請者) 非課税所得限度額	1	8	6	4	0	0	0	円
--------	----------------	---	---	---	---	---	---	---	---

※「申請者」と「配偶者等」の(5)年間所得見込額を比べ、申請者の方が高いことを確認してください。また、申請者について非課税所得限度額を記入してください。

※限度額は右の早見表から、申請時点の申請者についての「世帯の人数」にあてはまる金額を記入してください。

※世帯人数は、「申請者本人」「同一生計配偶者(所得金額48万円以下の方)」「扶養親族(16歳未満の者も含む)」の合計人数です。

※申請者が申請時点で、障害者、未成年者、寡婦、ひとり親であって、世帯の人数が3人以下の場合は、非課税所得限度額は135万円としてください。

＜早見表＞

世帯の人数	非課税所得限度額
2人 (例) 夫(婦)子1人	91.9万円
3人 (例) 夫婦子1人	123.4万円
4人 (例) 夫婦子2人	154.9万円
5人 (例) 夫婦子3人	186.4万円
6人 (例) 夫婦子4人	217.9万円

早見表から当てはまる金額を記入します。
※この例の場合は、夫婦・子3人の5人世帯の想定です。

→【要件2】申請者(所得が高い方)の(5)年間所得見込額が

【確認事項】(各項目のチェック欄(□)に『✓』を入れて頂き、氏名を

- 【所得要件】に該当します。 収入額が分かる書類(給与明細書や年金額改定通知書等)を提出しています。(注)収入が0円の場合は、別途、自身の収入の状況等の詳細について記載した申立書の提出を求める場合があります。
- 控除額が分かる書類(帳簿等)を提出しています。(前ページの【B】欄に記入した場合のみ)
- 今後1年間に収入の多い時期がある、臨時の収入がある時期があるなど、限度額を上回ることが明らかであるものではありません。
- 給付金の支給要件の該当性等を審査等するため、川越市が必要な住民票を提出することや必要な資料の提供を他の行政機関等に求める・提供する場合があります。
- 本申立の内容に相違ありません。

確認事項を全てご確認の上、必要な項目全てに✓を記入してください。
また、申請者および配偶者等の氏名を記入(署名)してください。

令和 5年 6月 5日

申請者氏名

川越 春男

配偶者等氏名

川越 夏子